

麻酔科初期研修カリキュラム

カリキュラム責任者：崔 成重

概要

府中病院で行っている年間麻酔科管理件数は約 1500 例です。当院は、日本専門医機構が認定した麻酔科専門医が専従する日本麻酔科学会認定の麻酔科認定病院です。さまざまな専門科の最先端の手術に対応しており、患者様ひとりひとりの状態に応じた、きめの細かい麻酔診療を心がけています。また、幅広い知識と技術を最先端に保つため、学術的活動も継続しています。臨床研修医の指導にも熱心に取り組んでいます。

<一般目標 GIO: General Instructional Objective>

手術患者に対する麻酔管理を麻酔科医師指導のもとで行い、気道確保、循環管理、呼吸管理、体液管理、代謝管理、鎮痛法など全身管理の基本的な知識、手技の習得を目的とする。

<行動目標 SBO: Specific Behavioral Objective>

1. 各種麻酔法（全身麻酔、硬膜外麻酔、脊髄くも膜下麻酔、伝達麻酔など）を説明できる。
2. 各種麻酔法の合併症と対策を説明できる。
3. 症例に応じた麻酔法を計画できる。
4. 麻酔に必要な物品を準備できる。
5. 麻酔記録を記載できる。
6. 気道確保が実践できる。
7. バッグマスク換気を実践できる。
8. 気管挿管を実践できる。
9. 挿管困難症例の特徴、対処法を説明できる。
10. ラリンジアルマスクなどの声門上器具を挿入できる。
11. 人工呼吸の各種モードを説明し、設定できる。
12. 麻酔導入、覚醒時の問題を説明できる。
13. 抜管の条件を説明し、安全に抜管できる。
14. 末梢静脈路を確保できる。

15. 各種モニター理解し、説明できる。
16. 各種静脈麻酔薬の使用方法、副作用を理解し説明できる。
17. 各種麻薬の使用方法、副作用を理解し説明できる。
18. 筋弛緩薬の使用方法、副作用を理解し説明できる。
19. 各種循環作動薬の使用方法、副作用を理解し説明できる。
20. 輸血、血液製剤の適応を説明できる。
21. 周術期スタッフ、患者とのコミュニケーションがとれる。

＜方略 LS: Learning Strategies ＞

1. 手術室研修
全身麻酔症例を麻酔科医師指導のもとで担当する。
2. 症例検討
必要に応じて適宜、指導医と行う。
3. モーニングレクチャー
一年次に二回にわたり基本的知識習得のためのレクチャーを行う。
4. 学会活動
希望に応じて麻酔科関連学会に出席する。

週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土
8-9 時	当日担当症 例の問題点 の整理と課 題	当日担当症 例の問題点 の整理と課 題	当日担当症 例の問題点 の整理と課 題	当日担当症 例の問題点 の整理と課 題	当日担当症 例の問題点 の整理と課 題	
午前	臨床麻酔 研修	術後回診 臨床麻酔研 修	臨床麻酔 研修	臨床麻酔 研修	臨床麻酔 研修	座学 麻酔科学 論文読影
午後	臨床麻酔 研修	臨床麻酔 研修	臨床麻酔 研修 術前診察 準備	術前診察 臨床麻酔 研修	臨床麻酔 研修	座学 麻酔科学 論文読影
夕方	当日症例 の振り返り 翌日症例 の問題点、 課題検討	当日症例 の振り返り 翌日症例 の問題点、 課題検討	当日症例 の振り返り 翌日症例 の問題点、 課題検討	当日症例 の振り返り 翌日症例 の問題点、 課題検討	当日症例 の振り返り 翌日症例 の問題点、 課題検討	

<研修評価 EV: Evaluation>

1. 自己評価 : PG-EP0C で行う。
2. 指導医評価 : PG-EP0C で行う。